

別記第1号様式(第7関係)

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称	第七期第3回豊島区生涯学習推進協議会小委員会	
事務局（担当課）	文化商工部学習・スポーツ課	
開 催 日 時	令和5年11月22日（水）午前10時～12時	
開 催 場 所	庁舎内7階701会議室	
議 題	評価についての進め方	
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開      傍聴人数      人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 各委員の感想及び意見を忌憚なく発言していただくため。
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	高井正（会長）、中上亜樹（副会長）、齋藤知明
	そ の 他	
	事 務 局	学習担当係長（生涯学習）兼社会教育主事、生涯学習指導員

事業評価について

## 実施した結果（アウトプット）

参加者数、講座数など数字の実績で評価する。

対象の講座

- ・学習・スポーツ課の事業  
としまコミュニティ大学…講座数、受講者数、マナビト登録者数  
日曜教室…登録者数、活動数  
ジュニアリーダー…登録者数、活動数
- ・地域文化創造館、みらい館大明の施設で実施した講座

## 事業評価を成果評価で行う（アウトカム）

（短期的）講座終了直後のアンケートで意識の変化を測る。

- ・アンケートの自由記述を活用
- ・満足度

としまコミュニティ大学講座のアンケートから

学び、ふりかえり、気づき、知識の習得、意識の変化がみられる記述

（中長期的）時間的な幅を広げて、参加者の意識や行動の変化を探る。

インタビュー形式で聞き取り調査

- ・今までやってきたことの振り返り
- ・変化したターニングポイント

聞き取り調査の方法

学習を継続している3人のマナビト生を対象に、会長、副会長、委員の3人が同時にインタビューを行い、学びの変化や気づきを聞き取る。その後、小委員会で評価の視点を明らかにしていく。

インタビューのキーワード

他者との学びあい、地域に必要とされる活動、つながり、新たな価値、ビジョンにある体系図（『豊島区生涯学習推進ビジョン』P16～18）

## 今後の進め方

- ・インタビューの実施…1月
- ・第4回小委員会…1月～2月（まとめに向けて）  
インタビューから評価の視点を明らかにしていく。  
インタビューを受けた3人のマナビト生には、インタビューを通しての気づきや発見について書いていただき、自らの変容について整理する機会とする。
- ・第4回本委員会…3月  
評価についてまとめ

## 会議の結果

インタビューを実施後、第4回小委員会において、インタビューから評価の視点を明らかにしていく。また、インタビューを受けた3人のマナビト生に、インタビューを通しての気づきや発見について書いてもらい、自らの変容について整理する機会にもする。